

てくのクテ

車検時のOBD検査について

■車検時の新たな検査項目としてOBD検査が追加されました。

【OBD検査】とは、自動運転技術などに用いられる電子制御装置が適切に機能しているかを確認する検査です。国が定める自動車検査（車検）の検査項目として、令和6年10月以降（輸入車は令和7年10月以降）に新たに追加されました。OBD=On-board diagnostics（オン・ボード・ダイアグノーシス）
 自動車各部に取り付けられたECU（Electrical Control Unit）にプログラミングされている自己診断機能である。

2024年10月以降、使用過程における検査（いわゆる車検）の際、車検証の備考欄に「OBD検査対象」などの記載がある車両については、通常の検査項目に加えてOBD検査を実施する必要があります。

OBD検査対象車をお持ちの使用者の方は、点検・整備や車検の際、入庫する整備工場に対してOBD検査に対応しているかご確認ください。また、使用者自身において車検を受ける場合については、全国の運輸支局等の検査場（軽自動車の場合は軽自動車検査協会の検査場）でOBD検査を含む車検を受けることができます。



自動車検査証		令和 4年12月 1日	東京運輸支局長	411230000001
品川 399 さ 1234	令和 4年12月 普通	乗用	自家用	98765 0001
コタロウツツ	型式	箱型	乗用	1.59
SHADA1-001	ガソリン	乗用	乗用	1.59
ZXX-ABC99	ABD-3E	750	600	600
1350	1625	448	173	149
国土 交通	平成10年製96cc、その他	み ほ ん		

備考欄：OBD検査対象
上記が記載されます

備考欄：
OBD検査対象車
OBD検査開始年月日
令和6年10月1日
上記が記載されます
ICチップの
読取が必要です

どんな装置を検査するの？



<メモ>

OBD検査の対象となる車両は、国産車は令和3年（2021年）10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）、輸入車は令和4年（2022年）10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）です。車検証に「OBD検査対象車」（電子車検証の場合は「OBD検査対象」）などの記載がある場合でも、法令等で定められた条件によりOBD検査を実施しなくてもよいことがあります。

『てくのクテ』は、知っている方、知らない方を問わず、ITに関する色々な疑問???や、テクノ産業から皆さまにお伝えしたいことなどを配信したいと考えております。

-お問合せ先-

2024年10月 テクノ産業の休日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

TEL 0287-62-6010 FAX 0287-62-8998

E-mail: techno@tecowl.co.jp

- 那須高原のIT工房 -

株式会社 テクノ産業

〒325-0073 栃木県那須塩原市阿波町110-36

URL: https://www.tecowl.co.jp/

◆◆◆住所が変わりました◆◆◆

9月にAppleEventが
あって最新iPhoneが発表されて
ひそかにうれしくてくんとくのお
スベック的にはそれほど変更ないかも
だけど新しいものはうれしくてくのお！
特にiPhone16シリーズのカメラに
マクロ撮影が付いたのがとてもいいくのお！
iPhone13Proで搭載された機能だけど、まさか
無印iPhoneにマクロ撮影が付くとはさすが
Appleってくのお！写真を撮る楽しみが
ふえるてくのお！ちなみにマクロ撮影とは
被写体を接写して取れるのとでも
おもしろい機能てくのお！
近づけば針のあなも
余裕で見えるてくのお！



■毎年恒例！Apple Eventで発表された新製品

毎年恒例となった9月のApple Eventが今年も開催されました。ここ数年、10月号のてくのクテでは毎回Appleの新製品を特集しています。今回発表されたのは、iPhone 16シリーズ、Apple Watch、Apple Watch Ultra 2、AirPods 4、AirPods Maxと、例年に比べて製品数は少ないですが、未来を感じさせる製品ばかりでした。

■iPhone16シリーズ

今回のiPhone16シリーズは、なんとと言ってもカメラコントロールが追加されました。iPhoneは写真や動画を撮影するものだと考えると、とてもよいアップデートでしょう。

iPhone 16 Proは0.2インチ画面が大きくなっています。iPhone 16に初めてマクロ写真撮影が追加されました。これで写真を撮ることがさらに楽しみになりました。iOS 18でさらなる機能のアップデートも行われています。

iPhone 16

Apple Intelligenceのために設計。



iPhone 16 Pro

Apple Intelligenceのために設計。



Apple Intelligenceのために設計されたiPhone 16シリーズですが対応は日本語対応が2025年以降になるのでちょっと残念です。

■Apple Watchシリーズ10

最大の特徴は、画面が45mmから46mmに大きくなり、本体が1mm薄くなりました。また、チタニウムケースが新たに登場し、シリーズ9と比較して20%軽量化されました（※チタニウムを選択した場合）

睡眠記録から心臓の健康に関する通知まで先進的なセンサーが搭載され、睡眠無呼吸の兆候が検出されるなどアップデートが行われました。

大いなる薄さ。



Apple Watch Ultra2にはブラックカラーが追加されました。

■AirPods4・Max

アクティブノイズキャンセリング搭載モデルが発表されました。適応型オーディオや外部音取込モード等Proシリーズで搭載済の機能も利用できます。一度、空間オーディオを体験すると手放せなくなります。AirPods MaxはUSB-Cと新色が追加されました。



AirPods 4



AirPods Max

色めき立つサウンド。